

◆今期間のポイント

＜主要しょう乱の概要＞

- 11日は、低気圧が発達しながらオホーツク海へ進み、前線が日本の東から日本の南にのびる。
- 12日は、発達した低気圧がオホーツク海を東に進み、高気圧が朝鮮半島付近から日本の東へ移動する。
- 13日は、前線が華中から本州南岸にのび、前線上に低気圧が発生する。
- 14日は、前線上の低気圧が本州南岸を東へ進み、高気圧が日本海西部に移動する。
- 15日は、高気圧が日本の東へ移動し、前線が日本の南に南下する。

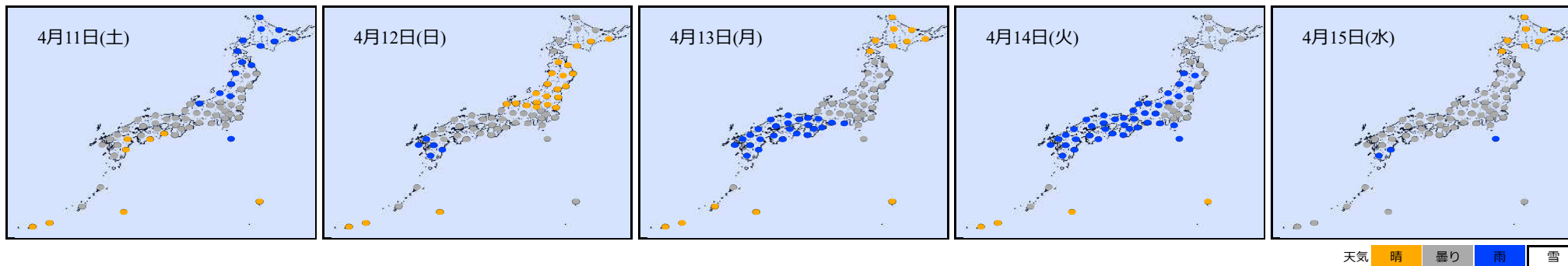
＜防災事項＞ 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- 11日から12日頃にかけて、発達した低気圧の影響で北日本では荒れた天気となり、低気圧の発達程度等によっては大荒れや大しけとなるおそれがある。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

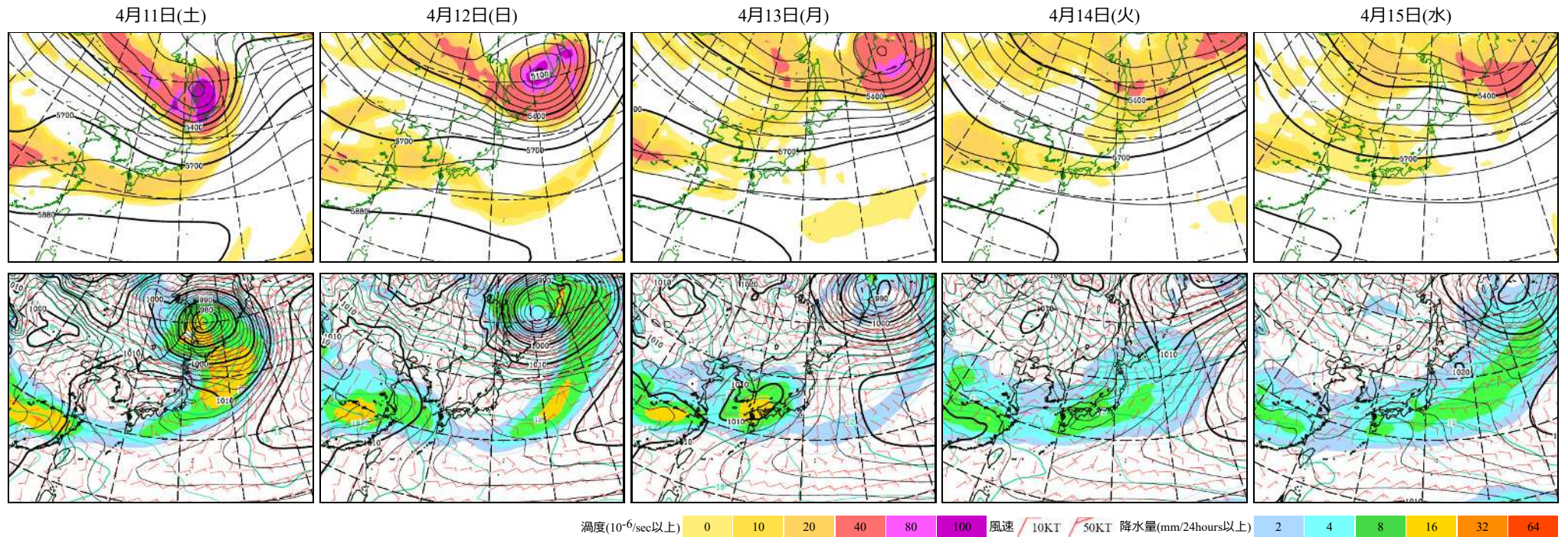
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

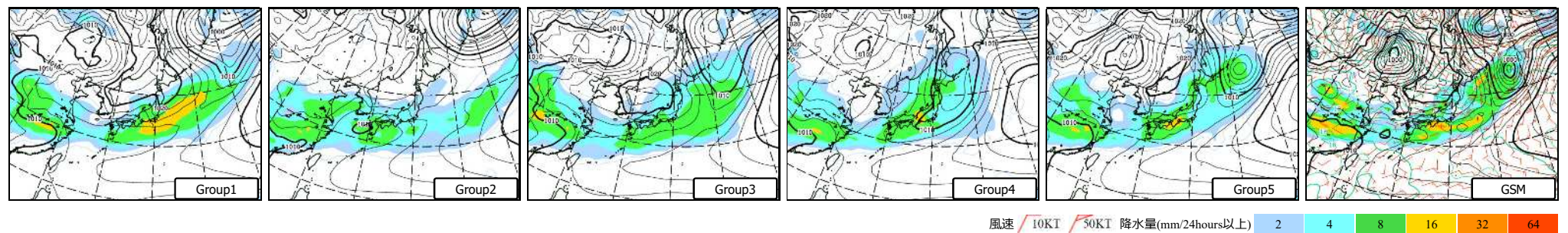


- 北日本は、曇りや晴れの日が多いが、11日と14日は雨の降る所がある。
- 東日本は、曇りや雨の降る日が多いが、12日は晴れる所がある。
- 西日本は、曇りや雨の降る日が多い。
- 沖縄・奄美は、曇りや晴れの日が多い。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆4月14日のENSクラスター平均(グループ1~5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料 (ENS) は、11日から12日にかけてオホーツク海で発達する低気圧の勢力が強くなった。
- モデル間の差は12日までは小さいが、13日から14日にかけて本州付近を東進する低気圧や前線の位置に違いが見られる。
- スプレッドは期間の終わりで大きく、特定高度線のばらつきが見られる。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。